

6月18日～四日市空襲

ちょうど1年前、このような記事を学校だよりに載せました。



2016年、歌手としては初めてノーベル文学賞を受賞した、ボブ・ディランというアーティストが1963年にリリースした曲「風に吹かれて」(英: *Blowin' in the Wind*) を思い出しました。

歌詞は

「どれだけの砲弾を発射すれば、武器を永久に廃絶する気になるのか」
「為政者たちは、いつになったら人々に自由を与えるのか」
「一人一人にいくつの耳をつければ、他人の泣き声が聞こえるようになるのだろうか」
「人はどれだけの死人を見れば、これは死に過ぎだと気づくのか」

の問いかけと、

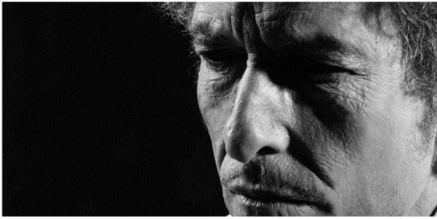
「人はどれだけの道を歩けば、一人前と認められるのか」
「山が海に流されてなくなってしまうのに、どのくらいの時間がかかるのか」

という問いかけが交互に繰り返されたあと、

「答えは風に吹かれている」

というリフレインで締めくくられます。

(英語の歌詞は、調べてくださいね。)



彼は、

『世の中で一番のダメなことは、間違っているものを見て、それが間違っていると頭でわかっているでも、目を背けることだ。』

という「思い」を込めたと言っています。

1945年6月18日に四日市空襲がありました。その後8月8日まで計9回の空襲により、800人以上の市民の尊い命が奪われました。

※【死者800余名 被災者49,198人】(3年生も平和学習を行いましたね。)



勉強の手を少し休めて、世界を見渡し、「平和」「感染症に関連する差別」「SNSによる誹謗・中傷」について考えてみてはいかがでしょうか・・・

四日市空襲と戦時下の暮らし

令和3年6月15日(火)～9月5日(日)、四日市市博物館3階のロビーや常設展内の「白里亭」では、防空壕のジオラマや焼夷弾(M69 収束焼夷弾)の実物大模型、空襲の様子を語るビデオ映像、模擬原子爆弾(バンプキン)に関する資料など、当時の様子を知ることができる貴重な資料を数多く見ることができます。また、2階「四日市公害と環境未来館」の常設展示にも、プロジェクションマッピングによる四日市空襲の映像とジオラマ、この期間中は戦時下の様子がわかる実物大展示や陶製の代用品などの資料も見ることができます。

中間テストが終わりました！

〔5月31日(月)6月1日(火)〕

1年生のみなさんにとっては、中学校生活初めての定期テストでした。

少し緊張していた人もいるかもしれませんね。

振り返ってみて「けっこうできたぞ」「うーん、イマイチ」など感想はさまざまでしょうが、月末の期末テストに気持ちを切り替えていきましょう。

質問日の様子



当日の様子



6月7日(月)～11日(金)は学校公開週間です！

生徒昇降口や廊下に自然教室や修学旅行の写真を掲示し、校外活動の様子を全生徒が閲覧できるようにしてあります。さらに、この期間中は、たくさんの写真をスライドショーでも上映しています。

また、タブレットを活用した授業もご覧いただけるとと思います。

感染症対策を十分に行った上、お時間が許す限り、ご参観ください。お待ちしております。

ありがとうございます



《避難訓練》

中間テストの2日目の6限目に、避難訓練を実施しました。実際に起こった事故、事件の時の避難の様子、日常の訓練の大切さを子どもたちに伝えました。今回は自分の教室からの避難でしたが、いつ何時、自分がどこにいるかわかりません。様々な避難経路を確認しておく大切さも、併せて伝えました。

部活動に取り組むのに「練習はうそをつかない（練習をしたことがそのまま本番に出る）」という肝に銘じておきたい言葉があります。同じことが災害のときも言えるのではないのでしょうか。「訓練はうそをつかない」真面目に訓練に臨めば、実際災害が起きたときも冷静に行動できるはずです。



《熱中症対策》

ミスト散水機が設置されました。

今年の夏も暑くないそうです。今年度も生徒昇降口前にミスト散水機を設置しました。

保健体育の授業後、部活動中等にどんどん利用してください。

